

## 岡南こども園 自己評価報告書（令和7年度）

<評価> 十分できている：3      できている：2      努力が必要：1

評価項目		平均評価	振り返りと課題
<b>1 基本項目</b>			
1	教育・保育の基本(認定こども園教育・保育要領)を理解している。	2.1	<p>○インターネット以外でも情報を収集するようにしたい。</p> <p>○よりよい保育をするためには、保育者同士が同じ方向（共通理解）を向いて接することが大切で、そのためには意見を伝え合い一緒に考えていくことが必要だと感じた。</p> <p>○様々な保育への思いがあり、時々、園の理念や方針に合った保育とは？と考えることがあった。</p> <p>○子どもを第一に考え、就学に向けた情報共有ができた。</p> <p>○以前より、保育の理念を理解して計画などを立てることができた。</p> <p>○会議では、他の先生と相談しながら伝える内容を考えた。</p> <p>○気になったことや疑問に思ったことは、すぐ調べるように努力している。</p> <p>○自分の保育を振り返ったり考えたりすることが増えたと感じる。</p> <p>○情報集めを多く行い、最新の情報を取り入れられるように気を配りたい。</p> <p>○調べた情報や知識などをすぐに現場で実践したが、子どもたちからも良い反応があり良かった。</p> <p>○1回目の振り返りでできていないところを改善できるよう努力したい。</p>
2	園の理念や教育・保育目標を理解している。	2.2	
3	園の全体的な計画を理解している。	2.2	
4	園の理念や方針に基づき、指導計画を立てている。	2.4	
5	定期的に自己評価をして、教育・保育の改善に努めている。	2.3	
6	教育・保育の計画や実践に向けて、創意工夫に努めている。	2.3	
7	自分の教育・保育の良さや課題を認識している。	2.2	
8	すぐにでも取り組まないといけない課題の改善に努力した。	2.5	
9	保育雑誌や専門書などを読んで教育・保育の情報を集めている。	2.2	
10	園の会議などで子どもの利益を一番に考えて発信している。	2.4	
11	業務上知り得た個人情報などの秘密を守っている。	2.8	
<p>◇職員間の問題に早急に対応し、教育・保育に支障のないようよく相談し改善に努めた。</p> <p>◇子どもの発達過程に合った玩具を用意すること、静と動の遊びのバランスを大事にすること。</p> <p>◇各クラス担任の思いが様々あり、定期的に自分自身で園の理念・方針を確認し、それを踏まえて話をする必要がある。</p> <p>◇先を見据えた行動を意識する。</p> <p>◇支援が必要な子どもに、どうしたら分かりやすく伝えることができるか。</p> <p>◇自分の考えを発信するように心がける。</p> <p>◇問題や疑問を後回しにせず、早めに対応する。</p> <p>◇職員間の問題に早急に対応し、教育・保育に支障のないようよく相談し改善に努めた。</p> <p>◇子どもの発達過程に合った玩具を用意すること、静と動の遊びのバランスを大事にすること。</p> <p>◇各クラス担任の思いが様々あり、定期的に自分自身で園の理念・方針を確認し、それを踏まえて話をする必要がある。</p> <p>◇先を見据えた行動を意識する。</p> <p>◇支援が必要な子どもに、どうしたら分かりやすく伝えることができるか。</p> <p>◇自分の考えを発信するように心がける。</p> <p>◇問題や疑問を後回しにせず、早めに対応する。</p>			
<b>2 子どもとのかかわり</b>			
<b>【生命の保持・心の安定】</b>			<p>○廃材利用の制限が難しいが、いろいろな材料を使わせてやりたい。</p> <p>○ひとりひとりの発達を理解し、その子の気持ちを大切に保育したい。</p> <p>○まだわからないと思わずに、分かりやすい言葉やジェスチャーで伝えることも大切だ。</p> <p>○心身ともに成長している子どもたちの中で、葛藤している場面が多く見られた。表情をよく見て、少し離れたところから見守り、必要に応じて言葉をかけた。</p> <p>○集団あそびを多く取り入れたことで、友だち同士の関わりが増えてきたと思う。</p> <p>○散歩に多くでかけ、地域の人たちと会話などを楽しむこと</p>
12	ひとりひとりの発達を理解している。	2.5	
13	ひとりひとりの生理的欲求が満たされるように配慮している。	2.5	
14	登園時に優しく声をかけるなど、状況に応じて対応している。	2.6	
15	わかりやすい言葉で穏やかに話かけている。	2.4	
16	子どもが何を求めているのか、常に配慮して接している。	2.4	
17	子どもの言葉にならない思いやサインなどの心の動きを理解するよう努めている。	2.6	
18	制止やせかさ言葉を不必要に使わず、ひとりひとりに合わせた対応をしている。	2.1	
19	「あとで」などと待たせず、なるべくその場で対応している。	2.1	

<b>【健康・安全】</b>			<p>ができた。</p> <p>○少しずつ、異年齢児との交流の機会を作ることができています。</p> <p>○散歩で駅まで行き、途中で地域の人と会い、あいさつをするなど、親しみ機会につながった。</p> <p>○子どもの年齢に合った言葉の選び方や口調で話をするようにした。</p> <p>○子どもが主体となる保育を意識するようにした。</p> <p>○食べられること残せることは当たり前ではなく、食べ物に感謝するよう声かけをした。</p> <p>○ひとりひとりに合った遊び方遊ばせ方をもっと学んでいきたい。</p> <p>○人との関わりがどのようなものであっても、関わろうとする気持ちを大切にしていける。</p> <p>○子どもの表情を見ながら、ひとりひとりに合わせた対応をしてきた。</p> <p>○仲良く遊ぶ姿が見られ、トラブルもほとんどなかった。</p> <p>○子どもからの訴えや子ども同士の争いごとは、その時その場で聞き、ひとりひとりの気持ちに寄り添って対応するように心がけた。</p> <p>○あたたかい雰囲気づくりを心がけた。制作活動では、利用年齢が幅広かったので、月齢が低い子と高い子とで内容を変えたり、保護者が楽しめるものを用意したりし、とても喜んでくれた。</p>
20	食事や排せつなどの生活に必要な活動に自ら取り組めるように配慮している。	2.3	
21	食事やおやつを楽しめる雰囲気づくりをしている。	2.6	
22	野菜を育てたり調理してくれた人への感謝の気持ちや命を大切にすることを育んだりできるように働きかけている。	2.5	
23	好き嫌いや食べ残しを直すために過度に叱らないよう配慮している。	2.8	
24	トイレの後や食前の手洗い等、清潔にする習慣が身につくよう働きかけている。	2.5	
25	体を動かすことを楽しむように働きかけている。	2.5	
26	危険を意識して行動するよう、安全について指導している。	2.4	
<b>【人とのかわり】</b>			
27	友だちとの関わりで、友だちの良さや大切さに気付けるようにしている。	2.4	
28	子ども同士が互いの気持ちや発言を受け入れられるように配慮している。	2.3	
29	順番を守るなどのルールが身につくように配慮している。	2.4	
30	活動を通して、共同の遊具や道具を大事にすることを体験できるようにしている。	2.3	
31	人と心が通じ合う喜びを伝えるように接している。	2.4	
32	異年齢の子どもと関わることを大切にしている。	2.2	
33	外国の人や文化の違う人に親しみを持つ機会を作っている。	1.3	
34	地域の人や高齢者と親しく機会を作っている。	1.6	
35	家族の愛情に気づき、家族を大切にしようとする気持ちを育てている。	2.3	
<b>【表現活動】</b>			
36	美しいものに感動したり、イメージを広げたりする機会を作っている。	2.4	
37	感じたことや考えたことを自由に表現する機会を作っている。	2.3	
38	子どもが自由に歌ったり踊ったりすることを楽しめるようにしている。	2.4	
39	様々な素材や用具と接し、自分で工夫して遊べるようにしている。	2.4	
40	子どもの作品を大切に扱い、工夫して飾るなどしている。	2.6	
<b>【言葉】</b>			
41	心のもった挨拶をしている。	2.6	
42	正しく丁寧な言葉で話かけている。	2.5	
43	「ありがとう」や「ごめんなさい」などの言葉を、相手の気持ちを大切に指導している。	2.5	
44	わからないことを子どもが聞けるなど、安心して話ができる雰囲気を作っている。	2.4	
45	子どもが人前で話をする時に、相手にわかりやすく話せるよう援助している。	2.3	
46	読み聞かせの時に、言葉の楽しさなどが伝わるように配慮している。	2.6	

3 保育環境

【環境作り～心地よい生活の場】		
47	常に公平で温かい態度や言葉づかいで子どもに接し、信頼関係を築くようにしている。	2.6
48	ひとりひとりが安心して過ごせる環境作りを心がけている。	2.6
49	保育室の温度や湿度、通風に配慮している。	2.6
50	適切な声の大きさと接している。	2.5
51	好きな遊びができる環境が整えられている。	2.2
52	自然との触れ合いを大切に心が豊かになるよう配慮している。	2.4
53	トイレや手洗い場を清潔に保っている。	2.6
54	遊具、おもちゃ、砂場などの点検、消毒を定期的に行っている。	2.4
55	必要な場所に転倒防止策をしている。	2.4
56	不審者などの侵入を防ぐ対策をしている。	2.2
【環境づくり～成長を促す】		
57	発達に合ったおもちゃや遊具を用意している。	2.5
58	子どもの動線を考えて、遊具や用具を配置している。	2.5
59	子どもが身近な動植物に触れ合う機会を作っている。	2.2
60	ひとりひとりの興味に合わせて好きな遊びが出来るようにしている。	2.2
61	園外保育で、公共機関などを利用し地域に興味を持てるようにしている。	1.7
62	伝統的な行事を生活の中に取り入れている。	2.5
63	日常生活や環境の中で、標識や文字に関心を持つ工夫をしている。	2.3

4 保護者とのかかわり

【情報の発信と受信】		
64	教育・保育の方針や内容を保護者にわかりやすく説明している。	2.0
65	個々の家庭の養育方針を理解している。	2.1
66	必要に応じて、保護者との個別面談を行っている。	2.5
67	緊急時は電話などで迅速な連絡を行っている。	2.8
【支援】		
68	家庭と協力して、子どもが健康的な生活リズムを見につけられるようにしている。	2.3
69	子どもの育ちの過程を伝え合い、共通理解に努めている。	2.5
70	悩みや不安を話せるように心を開いて対応している。	2.7
71	保護者の保育参加等、子育てについて共通理解を得るための機会を設けている。	2.2
【マナー】		
72	すべての保護者に対して、親しみを込めた挨拶や会話をするように心がけている。	2.7
73	丁寧な言葉や敬語を使っている。	2.6
74	子どもの体調不良等の連絡時の伝達方法に配慮している。	2.6
75	苦情や要望には、謙虚に話を聞いて対応している。	2.5

○危険な箇所の発見・伝達を受けたときにはすぐ対応するようになった。

○壊れたり古くなったりしたおもちゃ類は、早めに処分、新しいものを購入するようになった。

○引き続き、職員間で声をかけ合い安全に努めていきたい。

○子どもたちが成長し、できることが増えたことで、遊びも広がり、戸外への多く出ることができた。

○様々な活動・遊びの中で、危険のない環境を作るよう心がけることができた。

○同じあそびや同じ玩具が続いてしまうことが多かったので、工夫していきたい。

○公共機関の利用により興味・関心が高まり、将来の夢にもつながる子もいた。

○子どもが遊びこめる玩具を用意したり、子どもの動線を考えて机やイス、玩具の配置をするようになった。

○壊れたおもちゃや使わない道具は速やかに整理する必要がある。

○未満児では、コーナーを作って、コーナー別に遊べるよう部屋の環境を変えると、子どもが自分で考えて遊べると思う。

○秋には落ち葉、2月は豆まき、3月はひなまつりなど、季節のものを取り入れたり、季節に合った絵本をテーマに支援室の雰囲気をつくるようにした。

○担当以外の子どもの日々の様子をよく見て、ちょっとした時に様子を伝えられるようにしている。

○クラス内の担当以外の子どもの様子を知ることで、クラス全員の保護者の方との信頼関係を築くことにつながり、保護者の方の安心感につながると感じた。

○日々のちょっとしたエピソードや様子を伝えることで、保護者からも気軽に声をかけられる存在でありたいと思い、心がけた。

○園でのできごとや成長した面などを送迎時に保護者の方に伝えることができた。

○1月に個別懇談があるが、就学時健診前後の方が聞きたいこと伝えたいことがあるのでその方がよい。

○送迎時に子どもの様子について聞いたり伝えたりし、園や家での様子を共通理解するようにした。

○以前より保護者の方と関わる機会が増えたが、言葉遣いなどを意識して取り組んだ。

○親しみの中にも節度ある対応で保護者の方と接したい。

○せっかくのセミナーも周知されず参加が少なくもったいないと感じつつも、少人数であることのメリットもあり、講師の方とじっくり話ができただのは良い点だった。

5 ほかの保育者とのかかわり

【良好な関係と協働性】		<p>○職員研修後の園全体への還元（他の職員への伝達）のための時間・場を設けたい。                  ○職員会での対話に努めるようにした。                  ○少しでも良好な関係が築けるよう、今後も話し合いや協力をしていきたい。                  ○話し合いをする時間がなかなか取れず、後になって反省することや改善点が見つかることが多い。                  ○クラス内の職員とは、少しのできごとでも話し合ったり報告したりすることで、良好な関係を築きながら楽しく雰囲気の良い保育ができたように思う。                  ○クラス内で連携をとり、日々の保育で必要に応じた対応をすることができた。                  ○忙しさを理由に、話し合う時間を作る努力を怠ってしまった。                  ○職員間での情報共有やコミュニケーションにより、お互いの良いところなどを学ぶことができた。                  ○どうしたらいいかわからなくなった時には、自分で率先して聞くようにしている。                  ○報連相が大切だと思う。                  ○保育や子どもについて話し合うことが増え、自分を振り返ることができるようになった。                  ○悩みなどを話しやすい環境があり、悩みを聞いてもらうことができ良かった。                  ○正しいことを訴えている職員が傷つくことのないよう、自分でできることをしていきたい。                  ○日々の気づきを共有することができるよう努力したい。                  ○時代に合った言葉がけや保育内容のアップデートが必要、正規やパートの別なく保育に関わる者として必要な研修などの情報提供の場がほしい。                  ○少しの変化でも、何かあったときにはクラス担任などに伝えるよう心がけた。</p>	
76	園長、副園長、主幹、副主幹、リーダー、同僚等を尊重し、良好な関係を築いている。		2.5
77	園長、副園長、主幹、副主幹、リーダー、同僚等の言葉を素直な気持ちで受け入れている。		2.7
78	報告や連絡、相談をするよう心がけている。		2.7
79	互いの状況や役割を理解し、協力や援助をしている。		2.4
80	園が目指す目標に向けて互いに協力している。		2.4
【向上】			
81	自己評価をもとに、職員間で教育・保育内容に対話を重ねている。	2.2	
82	教育・保育の良さや課題を話し合っって明確にし、見直しや改善につなげている。	2.2	
83	研修などを通して、互いに知識や技術の習得を図っている。	2.1	
84	子育て支援や地域開放、地域連携のあり方について、職員間で話し合っている。	1.7	
<p>□研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間研修回数                      : 外部研修 19回（オンラインを含む）、内部研修 13回</li> <li>・受講人数（延べ）：26名（外部研修のみ）</li> <li>・その他、キャリアアップ研修等受講</li> </ul>			